

否定側立論

これから否定側の立論を行います。

否定側は肯定側の定義に従い、現状を支持します。

肯定側のプランを採用することによって起きるデメリットを1点述べます。

デメリットは「凶悪犯罪の増加」です。

まず、発生過程を説明します。

1. 死刑には犯罪抑止力があります。

小田晋、筑波大学教授は『人はなぜ犯罪を犯すのか？』1994年の中で以下のように述べています。引用開始。

「団藤重光氏が『死刑廃止論』で、「死刑に犯罪抑制力はない」と述べていることから、一見これは定説となっているように見えます。しかし、死刑の抑制力（デテラント・エフェクト）についての文献をみれば、必ずしもそうはいえないことがわかります。というのも、現在では、せいぜい死刑の犯罪抑制力について統計的に証明できるか、という問題をめぐって賛否の議論があるだけだからです。たとえば、アメリカの犯罪研究者であるS・スタックは、多くの社会学者が主張する、死刑に犯罪抑制効果はないという考えに対立して、死刑執行が公表された場合、それは強い殺人抑制力を持つと論じました。彼によると、広く公表された死刑執行は、一九五〇年～八〇年の間に少なくとも四八〇人の無辜の人命を救ったとされています。」引用終了。

このように死刑には犯罪抑止力があります。

2. しかし、死刑がなくなると最高刑が無期懲役となります。無期懲役は15年もすれば仮出獄できます。本来であれば死刑になる者が、無期懲役になり仮出獄することによって、再び犯罪を犯すことがあります。

証拠資料を引用します。出典は朝日新聞死刑制度取材班『死刑執行』1993年です。引用開始

「日本の実例をひとつ挙げると、死刑に値する事件の被告が死刑にならなかったために、再び人を殺すというような犯罪を起こして、最後には死刑になる例は珍しくありません。」引用終了。

次に、深刻性を説明します。

凶悪犯罪が1件でも増えれば、それに伴って何人かの尊い命が失われることとなります。そのうえ凶悪犯罪の増加は、社会不安を招きます。とても深刻な問題です。

以上で、否定側立論を終わります。ありがとうございました。

- デメリットの 제목을 짧은 표현(라벨)으로 설명한다.
- (デメリット)발생과정「고유성 + 심각성」
- デメリット의 구성① = 고유성(固有性) 플랜을 실행하지 않았기 때문에 문제가 일어나지 않고 있다, 또는 억제되어 있다는 것을 설명한다.
예) 死刑があるおかげで犯罪を抑止できている
- デメリット의 구성② = 발생과정 플랜을 실행하여 발생하는 문제의 발생 과정을 설명한다.
- デメリット의 구성③ = 심각성 발생하는 디메리트가 얼마나 큰 문제인지를 설명한다.
- 디메리트의 크기 = 「가능성 × 질 × 양」
가능성 = 고유성 ~ 발생과정의 입증도.
질/양 = 「어떤 것」이 「얼마나」 발생하는지.